

もくじ

- ・ わらしべ<sup>ちょうじゃ</sup>長者

ちょうじゃ  
わらしべ長者

げんさく 原作： にほん むかしばなし  
日本の昔話

イラスト： ちひろ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject



むかしむかし、あるところに、一人の貧しい若者が  
 いました。ある日若者は、山の中にある小さなほこら  
 で、お祈りをしていました。

「神様、お願いします！おれは貧乏で、このところ  
 ろくに飯を食ってない。どうか毎日、ほんの少  
 しいから、食べ物にありつけるようにしてくだ  
 さい！」

するとその祈りが神様に届いたのか、若者の耳に  
 不思議な声が聞こえてきました。

『お前にいいことを教えてやろう。ここからの帰り道  
 で、一番最初に手にした物を、大切に持って歩いて  
 いなさい。それがお前に幸運をもたらすだろう』

それを聞いた若者は、神様にお礼を言って、  
 大よろこびで帰っていきました。





5

やまのふもとまできた時、わかものみちとだ  
石につまずいて、ころんでしまいました。

わかものおあ  
若者が起き上がると、いつのまにか手になにか  
つかんでいました。

それは一本の『わらしべ』でした。

「う～ん、こんなものが、こうん  
か？」

わかものくび  
若者は首をかしげましたが、それでもかみさまことば  
しん  
信じて、このわらしべをたいせつもちかえ  
帰りました。

